



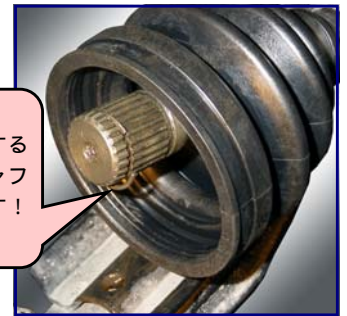
MODEL : DS-979 & 989 DRIVE JOINT INSERTER

ドライブジョイントインサーター

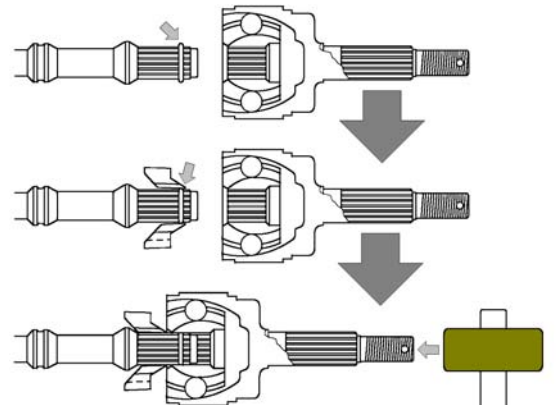
サークリップ(Cリング)を、3方(DS-979)または4方(DS-989)から爪先で押さえ、スムーズに挿入できるよう案内をします。ハンマー打撃により、爪は後方へ移動してドライブシャフトと固定ジョイントの装着ができます。

セットが素早いプライヤー型の DS-979 と、確実につかめるネジ式の DS-989、2タイプを用意しました。

ドライブシャフトの、アウター(ホイール)側固定ジョイント分離によるブーツ交換後、サークリップの張り出しにより装着困難な、シャフトの再装着が簡単にできるサポートツールです!!



こんな時は要注意!
このまま無理に入れようとすると、サークリップおよびシャフトスプライン部を損傷します!
DSをご指名ください!



爪は消耗品です。先端部がつぶれたり、折れてしまった時は交換してください。DS-989は、爪部のみ補修部品と交換できます。

- ・爪可動側(幅狭) 品番: DS-989-02
- ・爪固定側(幅広) 品番: DS-989-03

使用方法

- ツールの爪先端(尖っている方)が、ドライブシャフト先端方向へ向くようにかまえ、サークリップ(Cリング)が、セレーション部のミゾ内へ、いちばんバランス良く収まるよう位置決めし、できるだけ爪の先端部でクランプします。
<注意> DS-989 > クランプボルトの締めすぎに注意してください。サークリップ外径が、セレーションの山径より少し小さくなった程度でOKです。それ以上無理に締め込むと、サークリップを傷つけたり、後のハンマー作業時に、ツールの爪が破損します。
- 固定ジョイント内に、ドライブシャフト先端部を挿入し、セレーションを合わせます。そして、固定ジョイントとドライブシャフトが、垂直になるようかまえ、固定ジョイント先端部を、プラスチックハンマーで一気に打ち込みます。
<注意> ハンマー打撃は、的確に1回で行ってください。1回で入らなかった時は、爪のセット位置がずれてしまいますので、再度セッティングし直してください。また、固定ジョイント先端ネジ部は、ナットを装着するなど保護してください。(イラストには書いてありませんが、実作業時は、先にブーツを傷つけないよう保護した上で挿入しておいて下さい。)
- サークリップが、固定ジョイント内のセレーション先端に入ったら、ツールを外しロックされるまでしっかりと挿入して下さい。
<注意> サークリップ部分が通過したら、それ以上無理に叩かず、必ず先にツールを取り外してください。ツールの爪が破損します。

使用上の注意事項

- <!> F F車フロントドライブシャフト用。汎用ツールですので、スプライン形状と爪位置が完全には合わないことがあります。ご了承下さい。
- <!> 爪先端部は、鋭利に加工されていますので、怪我をしないよう取扱いは十分に注意して下さい。
- <!> 金属ハンマーでの無理な強打は絶対に避けて下さい。ドライブシャフトおよびツール破損の原因となります。